

おしのとみみの
きになることも、きいてきました!



かわもと りりか
川本 凜々花さん(中3)

週に一度通う探究塾では英単語のかるたや、辞書を利用して行う「たほいや」などのゲームをみんなで「ウェーイ!」と楽しみ、「苦手トップ2」という数学や英語の勉強に真剣に取り組む。

出席率トップというベースキャンプの活動では、函館公園をPRする観光ポスターを作成。普段は小説を書いたり、ゲームを楽しんでいるというパソコンを駆使し、デザインに挑戦した。初めての経験だったが、大人のアドバイスを受けながら、自分で撮影した写真も使って、完成させた。「作るのが楽しかった」

中学1年からボルダリングを本格的に始め、いつかベースキャンプのみんなと行きたいという。サイクリングもみんなで行ってみたい活動の一つだ。

「1人でやるよりみんなでワイワイやった方が楽しいかな」



ふくだ ゆう
福田 有さん(中2)

週に一度、ベースキャンプに通う函館市内の中学2年生。最近では、小学5年生から始めたフィンランド発祥のスポーツ、モルックにハマっているそう。ベースキャンプでも、屋外施設の「ボールパーク」で、モルックやキャッチボールを楽しんでいる。

観光客が最盛期を迎える5月、福田さんからベースキャンプの中学生3人と大人が、観光客で賑わう西部地区を訪れ、仲間が作成した函館公園の魅力PRポスターを国内外の観光客に声をかけながら配布した。受け取ってくれる人も受け取ってくれない人もいたというが、自分達が住む街の魅力は十分に伝わったはず!

料理にも関心があり、「卵焼きは作れる!」。

ベースキャンプでも「料理を作ったりしてみたい。手打ちそばとか手打ちうどんも作りたい」と笑顔。



まるぐち ひろゆき
丸口 弘之さん(おとな)

こどもたちや大人から親しみを込めて、「まるちゃん」と呼ばれている。得意のギターを奏でると周りに人が集まり、自然とみんなが声を合わせ、歌声が広がる。「体験したことすべてやっている。今日は何やろうって思う」と顔をほころばせる。

広島県出身。「牛を飼いたくて」北海道の大学に進学した。大学卒業後、地元の広島県に戻り、牛、豚、鶏など動物を飼育していた養護施設に5年間勤務後、福祉先進国の英国に留学した。

英国では、シュタイナー関連のコミュニティハウス「パラダイスハウス」で知的しょうがいを持つ人たちと1年2カ月暮らしをともにした。「しょうがいがあるがなからうが、本物はわかる」。

ここでの経験がカルチャーショックとなり、今でも活動の原点になっているという。帰国後は無職、主婦も経験。こどもの誕生をきっかけに、教員試験に挑戦し、合格した。30歳で北海道に戻り、養護学校教諭になった。教員時代は比較的しょうがいの重たいこどもたちの学校のモデル校や、養護学校に新たに作る高等部など立ち上げに関わるが多かった。最後の勤務地となったニセコの中学校は、黒松内の自宅から約50kmの距離を往復。毎日車窓から眺める8つの山々を全て登ったという。そして、2016年に教員を早期退職後、60歳を過ぎて保育士試験に再挑戦。得意のギターで課題曲に挑み、見事合格した。

函館には、黒松内で出会って以来、親交がある「いっちゃん」からの電話がきっかけで、夏休みで人手不足になった「ひのてん」を手伝うためにやって来た。現在では週に3日、自宅のある黒松内町から車で約120km離れた函館に通い、ベースキャンプ、探究塾、学童で大活躍。「いろんな大人がいていいのかなと思う。最後は人。自分が生きてきたそのものが現れるから。その人の生き方が大事だね」

会員募集中!



mikanbako.info



みかん箱の会費、開所日時など
詳しくはウェブサイトをご覧ください。

編集後記

みかん箱通信では、ここで体験できることやどんなおとながいるのかなど、実際の声とともにみなさまにお届けします! 4月に開講し、継続的にこどもたちが足を運んでくれるような場所になりました。こどもたちの「やってみたい」「やりたい」を実現するためにどんなことができるかをおとなたちも楽しみながらこどもたちと考え、活動しています。この通信を通してみかん箱に興味を持ってくださる方が増えることを願っております。また発行にあたり、みかん箱に携わってくださる関係者各位、取材に応じてくださったこどもたちのご協力に感謝いたします。

(編集員: 國嶋)

みかん箱運営報告

小学生会員数	9人
中高生会員数	11人
ボランティア数	4人
非常勤職員数	8人
常勤職員数	1人

(2024年6月1日時点)



みかん箱通信

夏号 No.1 **無料**

一般社団法人みかん箱
〒040-0053
北海道函館市末広町9-9
電話 0138-84-5762

- 発行人: 曾我直人
- デザイン: スギナカモモコ
- みかん箱通信編集員:
押野友美、國嶋莉々、福田琢磨



— HAKODATE —



みかん箱通信



『みかん箱』キックオフ!



子ども第三の居場所・第1期生スタート
開所式に大泉市長が参加



この春、新しいみかん箱がスタートしました。今号の主役は、中学生・高校生です。彼ら彼女らが、自分を成長させる場として、1階から4階までのみかん箱の空間を大いに活用してほしいと思います。そして、10代の多感な時期に、この街で生きることの楽しさを存分に味わってほしいと、スタッフ一同心から願っています。同時に、我々おとなも存分にみかん箱の活動を楽しみます。みなさんの応援をよろしくお願いいたします。(理事 曾我直人)

— 学び・出会い・感動を繰り返して、人生を豊かにする —

くにしまりりの
シッターチャンス
 じゃないですか?



「やりたいことをやってみよう!」の巻



'24.4.11

初めてのうどん作り。
 パスタマシンを使って生地を伸ばしたり、麺状にしたよ!

ガスコンロを使って
 ホットサンド作り!
 晩ご飯が入らなくなるんじや
 ないかと思うくらい
 バクバク食べていた!



'24.5.1



床に座ってつろぎながらみんなでUNO!

'24.6.11



グレイテストショーマンの
 「This is me」のシーンを鑑賞。
 池田晶子さんの「14歳の君へ」の
 一部抜粋し、「自分とは何か?」
 について考え語った。

'24.5.15



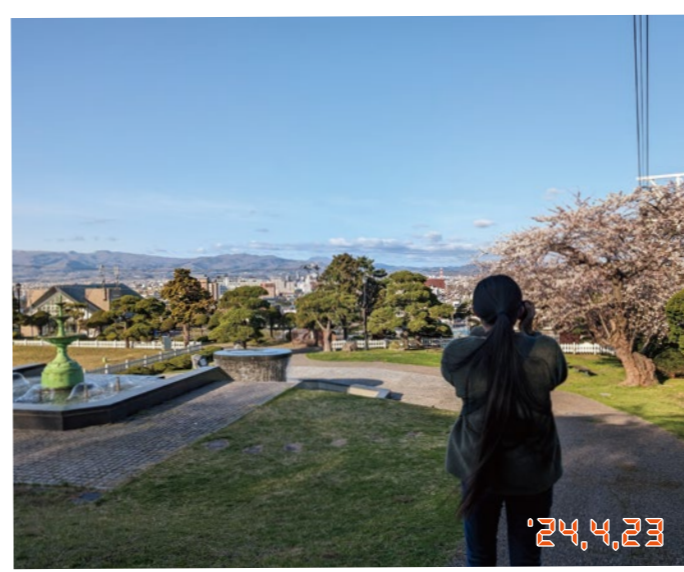
'24.5.9



2回目のうどん作り。
 1回目の経験を基に、
 材料の用意や食器の準備、
 時間配分などをこどもたちで
 計画して実施した。
 自分たちで作るうどんは別格!



'24.6.5



'24.4.23



'24.6.11



'24.5.20



'24.5.2



第2回青空ねそべっか
 (お祭り)でのひのき屋と
 一緒に演奏するための
 楽器練習中!

'24.5.22

四角錐の体積の勉強中。発泡スチロールで模型作成!



'24.5.1

こどもたちで企画・運営をした
 お菓子&ゲームパーティー!
 お菓子を食べた後に
 みんなでUNOをしている様子。



'24.4.17